

総務常任委員会委員長報告

総務常任委員会の報告を申し上げます。

総務常任委員会は、休会中の17日に開催いたしました。

説明を求めるため、出席を求めた者は、総務部長、総務部理事及び関係課長等であります。

当委員会が、付託を受けております案件は、予算2件、請願1件の合計3件であります。

それでは、順次審査の結果につきまして、報告をさせていただきます。

まず、議案第101号 平成22年度栗東市一般会計補正予算(第4号)についての内、当委員会が所管する事項については、

委員から「地域整備調査事業86,900千円の内訳と今後の予定、補助金はどうか。」との質疑に、当局から「社会資本整備総合交付金事業で、下鉤出庭線、蜂屋手原線2路線の用地費である。平成22年度から26年度の5カ年の事業認可をとっており、補助金は各年度の事業要望にもとづき、補助率55%で交付される。」との答弁がありました。

その他の質疑もありましたが、討論もなく、採決の結果、全員一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

なお、環境建設常任委員会委員長、文教福祉常任委員会委員長から、それぞれ関係する歳入、その他事項につきましても、原案どおり可決すべきものと決した旨の報告を受けております。

次に、議案第106号 平成22年度大津湖南都市計画事業栗東新都心土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)については、質疑、討論もなく、採決の結果、全員一致で原案どおり可決すべきものと決しました。

次に、請願書第30号 請願書 については、

「沖縄への新基地建設と全国への米海兵隊訓練移転を進める『日米合意』の撤回を求める意見書」の採択についての請願であり、討論もなく、採決の結果、賛成少数で不採択すべきものと決しました。

以上で、当委員会に付託されました案件の主な審査結果の報告といたします。

ご審議の程、よろしくお願いいたします。